

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

急速進行性糸球体腎炎における NLRP3 インフラマソーム/pyroptosis による影響の検討		
1. 研究の対象および研究対象期間 2008年1月1日から2024年6月15日までに昭和大学病院腎臓内科で腎生検を行った患者さん		
2. 研究目的・方法 炎症反応は生体防御において重要な反応ですが、過剰な炎症反応は組織障害を引き起こし疾患の原因になることがあります。近年、インフラマソームという蛋白質の複合体が炎症性サイトカインの産生や細胞死を誘導するという炎症反応の経路が発見されました。様々な疾患との関連が注目されておりますが不明な部分も多く、腎臓の分野においてもインフラマソームと糸球体腎炎の関連は明らかではありません。この研究では当院で腎生検を行なった患者さんで、急速進行性糸球体腎炎(ANCA関連血管炎および抗基底膜抗体型腎炎)と診断された方を対象に、インフラマソームに関連した検討を行います。		
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年3月31日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 腎生検で採取した腎臓組織、患者背景(年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬)、採血(血算、腎機能など)、採尿、臨床検査項目、バイタル(血圧、脈拍)に関する数値とします。年齢、性別以外に個人的な情報(生年月日、住所、家族構成)は扱いません。		
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。		
6. 研究組織		
研究責任者	昭和大学病院腎臓内科学講座	鈴木 泰平
研究分担者	昭和大学病院腎臓内科学講座	小林 和貴
	昭和大学病院腎臓内科学講座	梶尾 優希

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：腎臓内科

氏名：小林 和貴

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8533